

# 一 般 質 問 通 告 書

質問順	質問者	質問事項	質問の要旨	質問の相手
1番  6月19日	4番 橋口正人 議員	1. 地方創生に伴う企業誘致について	(1) 12月1日に協定を結んだセイカ食品の進捗状況について伺う。  (2) 地方創生を推進するためには、若い人たちの雇用を考えていかなければならないが、どう考えているのか。	市長  市長
		2. 本市の活性化と観光について	(1) チャレンジショップの目的は商店街の繁栄と活性化にあると思うが、これまでの事業について伺う。  (2) 日置市観光バスツアーの金額の見直しと今後どのような方向性を考えているか伺う。	市長  市長

# 一 般 質 問 通 告 書

質問順	質問者	質問事項	質問の要旨	質問の相手
2番       6月19日	7番 山口初美 議員	1. 農薬ネオニコチノイドについて	(1) 農薬ネオニコチノイドがミツバチにも悪影響を及ぼすことが明らかになり、欧州連合(EU)は使用禁止措置を実施中であるが、本市でも実態を調査し、対策をとる必要があるのではないか。	市長
			(2) 松くい虫航空防除にもネオニコチノイドが使用されているが、野生植物の多様性維持に欠くことのできないミツバチへの影響など考えれば、一時的にでも中止するか、別の方法を検討するべきではないか。	市長
		2. 脱原発について	(1) 要援護者などの避難計画の進捗状況は。	市長
			(2) 地震や火山の噴火が続いているが、川内原発の再稼働への影響をどう見るか。	市長
			(3) 新規制基準が火山の影響に備えらるるとする川内原発の半径160キロ圏には、口永良部島を含む39の活火山があるが、観測体制などは十分とられていると考えるか。	市長
			(4) 原発は燃料のウランを掘る段階から住民の健康をむしばみ命を傷つけ、ガンや白血病、流産、死産、奇形、先天異状、皮膚疾患など深刻な病気が広がっていることを認識しているか。	市長
		3. 子ども医療費について	(1) 中学卒業まで病院窓口で無料にする見通しはついたか。 鹿児島市も中学卒業まで来年4月から無料になる。また、進んだところは高校卒業まで無料になっており、本市は遅れている。1日も早く実現すべきではないか。	市長
		4. 高すぎる国保税の引き下げについて	(1) 広域化すれば国保税の負担は軽くなると考えるか。	市長
(2) 広域化で自治体の財政は良くなるか。	市長			

# 一 般 質 問 通 告 書

質問順	質問者	質問事項	質問の要旨	質問の相手
3番  6月19日	8番 出水賢太郎 議員	1. 指定管理者制度について	(1) 指定管理者制度の効果と課題について、どのように分析しているか。	市長
			(2) 指定管理者のチェック体制や評価制度の運用などはどうなっているか。	市長
			(3) 今後の進め方(民間譲渡も含む)はどうしていくのか。	市長
		2. 市道の管理について	(1) 市道の舗装や側溝蓋設置など、様々な要望がどれだけ上がってきているか。また、その対応はどうしているか。	市長
			(2) 雑木が繁茂し、市道の通行に支障が出ている場所もあるが、その対応はどうか。	市長
			(3) 自治会等が行う伐採・清掃の作業について、高齢化が進み作業困難な自治会も出てくると思うが、どのように考えるか。	市長

# 一 般 質 問 通 告 書

質問順	質問者	質問事項	質問の要旨	質問の相手
4番  6月22日	2番 畠中弘紀 議員	1. 農業政策について	(1) 本市の「農地中間管理事業」の実績を問う。  (2) 減反政策や米価暴落等の悪循環を断ち切るために市独自の方策はないか。  (3) 市街地近郊耕作地の農振地除外の考え方について問う。	市長  市長  市長

# 一 般 質 問 通 告 書

質問順	質問者	質問事項	質問の要旨	質問の相手
5番口  6月22日	1番 中村尉司 議員	1. 子どもの医療費助成について	(1) 子育て世代の方々が安心して子育てできる環境整備として、高校卒業までの医療費助成ができないか。	市長
		2. 郷土の歴史や伝統文化の総合的な顕彰施設について	(2) 鹿児島市が来年4月から医療費助成の対象を中学3年生まで引き上げる予定であるが、本市も近隣他市よりさらに踏み込んだ対策を講じなければ、鹿児島市や他市に若い子育て世代の方や子どもたちの流出が予想されるがどのように考えているか。  (1) 子どもたちが郷土愛を持てる地域に根ざした歴史と伝統文化を傳承し、風格ある教育をするために、そして昨今の歴史ブームや大河ドラマ誘致の取り組み、平成32年の国民体育大会など、交流人口も増えることが予想される中、本市の一体感を醸成し、総合的に顕彰し、PRできる施設が必要であると思われるが、どのように考えているか。	市長  市長

# 一 般 質 問 通 告 書

質問順	質問者	質問事項	質問の要旨	質問の相手
6番  6月22日	14番 大園貴文 議員	1. 自治会交付金について	(1) 27年度から交付金額が改正された。内容は小規模自治会へ配慮すると、先の9月議会的一般質問で答弁されたが、規模加算額が廃止され減額となっている実態はどうか。  (2) 100世帯未満は、規模加算額を残すべきと考えるが。	市長  市長
		2. 県の「わがまちの川サポート推進事業」の廃止について	(1) 河川愛護作業に取り組む自治会や団体に活動費として支給されていた補助金が27年度から廃止されたが、県の2級河川が多い本市として事業存続の要望をすべきではないか。	市長
		3. 各自治会収支状況について	(1) 各自治会の収支状況を把握しているのか。  (2) 歳入の減により自治会の年間事業の縮小か会費の増額を総会で協議されているが、どのように考えるか。  (3) 市が進める共生・協働について、過疎化が進む地域にとって財源不足は大きな負担となり、今後、労力・財源不足により地域の荒廃が速いスピードで進む事が懸念される。同時に市の負担が大きく拡大するが対応をどのように考えるか。	市長  市長  市長
		4. 日吉地域市営住宅の安全対策について	(1) 市の所有する住宅で風水害が発生し、市民に被害が及ぶ現状を管理者として、どのように考えているのか。	市長

# 一 般 質 問 通 告 書

質問順	質問者	質問事項	質問の要旨	質問の相手
7番  6月23日	18番 池満 涉 議員	<p>1. 人口減少社会の到来など、わが国はこれまで経験したことがない厳しい時代に突入した。自治体間の競争が早くから叫ばれてきたが、国が「地方創生」を謳う今、いよいよ自治体ごとの取組が評価される。</p> <p>市民をリードする首長や議員は当然のことながら、優秀な自治体職員の獲得と育成は急務である。この課題に対する市長の方針等を問う。</p>	<p>(1) どんな職員を望むのか、その採用方針と、現行の職員採用作業の流れを示せ。</p> <p>(2) 採用後の職員を、どのような研修・研鑽を経て「優秀な職員」に育てているか、その成果と課題を示せ。</p>	<p>市長</p> <p>市長</p>

# 一 般 質 問 通 告 書

質問順	質問者	質問事項	質問の要旨	質問の相手
8番  6月23日	11番 坂口洋之 議員	1. 医療費適正化への取り組みについて	(1) 27年度の国保会計の現状と課題は何か。	市長
			(2) 26年度の国民健康保険税の滞納状況とその要因はなにか。	市長
			(3) 25年度の医療費分析の本市の状況はどのような傾向か。	市長
			(4) 26年度の特設保健指導受診率の状況と取り組みと対策はなにか。	市長
			(5) 薬の多種の服用による影響、薬の飲み残しが指摘されているが、本市の状況はどうか。	市長
		2. 市職員の勤務の実状について	(1) 28年度から実施される市職員の人事評価制度の導入に向けての本市の基本的な考え方と実施に向けての対策をどう考えていくのか。	市長
			(2) これまで議会の中で市職員の業務の多忙化・長時間労働について指摘しているが、専門職の配置(土木技師・農業技師・保健師等)を含めて改善されたのか。	市長
		3. 各種選挙の投票率向上に向けての本市の取り組み状況について	(1) 4月の県議選の4地域ごとの投票率と年代別の投票率の状況はどうか。	選挙管理委員会委員長
			(2) 投票率の低かった投票所5ヶ所と低投票率の要因をどう分析されているのか。	選挙管理委員会委員長
			(3) 高齢者や障がい者の郵便投票の状況と周知・啓発をどのように取り組まれているのか。	選挙管理委員会委員長
			(4) 今、国会で成立されようとしている18歳投票権についての本市の考えと対策をどう考えていくのか。	選挙管理委員会委員長



# 一 般 質 問 通 告 書

質問順	質問者	質問事項	質問の要旨	質問の相手	
9番  6月23日	5番 黒田澄子 議員	1. ガン対策について問う。	(1) 各種ガン検診の受診状況と今後の目標値と目標達成に対する取り組みを問う。	市長	
			(2) 乳ガン検診に30代も取り組まないか。	市長	
			(3) 胃ガン撲滅対策として、胃ガンリスク検査(ピロリ菌抗体検査とペプシノゲン検査)に取り組まないか。	市長	
			(4) 学校教育におけるガン教育の現状と課題を問う。	教育長	
		2. HTLV1対策について問う。	(1) HTLV1の感染の状況についての詳細を問う。	市長	
			(2) 母子感染の原因が唯一母乳によるものといわれるHTLV1キャリアの母親に対して、粉ミルクの補助を考えないか。	市長	
		3. 審議会等への女性の登用について問う。	平成25年6月議会において、平成26年度には、30%を達成したい旨の市長答弁があった。		
			(1) 30%は達成されたのか。	市長	
			(2) 市長は、目標値を40%~60%と答弁されたが、いつ頃達成予定か。	市長	
			4. 防災対策の現状と課題を問う。	(1) 自主防災組織率100%はどのようにして達成されるのか。	市長
		(2) 既存の組織における活動内容は。		市長	
		(3) 市の求める組織化・防災活動はどのようなものか。また、住民の防災意識を向上させる手だては何か。		市長	
		(4) 大規模な現状の市総合防災訓練を、地域に準じた訓練とし、総合的に取り組むことを考えないか。		市長	
		(5) 災害時の広報に市Facebookを活用できないか。		市長	